



▲Acanthopyge balliviani
(長径3.5cm)



▲Acastoides verneuilli (長径4.3cm)

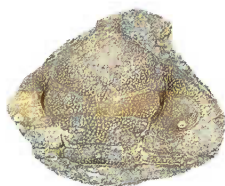


(頭角も尾の先もとがらない)



▲Schzostylus sp (長径2.7cm)
(頭の先が細く突き出している)

(頭部先端がとがる)



(長径4.5cm)

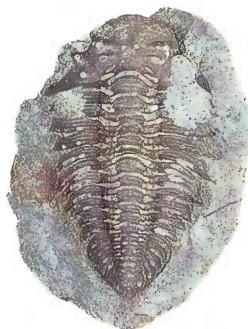


(長径3.5cm)

▲Cryphaeoides rostratus
上……頭部, 下……尾部



▲ダルマニテス科の一種
(長径1.5cm)



▲カルモニ科の一種 (長径5.3cm)
(体全体にイボが見られる)



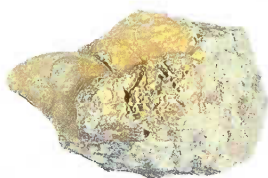
▲*Michelinoceras* sp.
(長径4.5cm)



▲*Nephriticeras* *sicasicaense*
(長径5.7cm)



▲*Platyceras* spp.
(長径3.0cm)



▲*Platyceras* sp.
(長径3.0cm)



▲*Pleurotomaria* *kayseri*
(長径3.0cm)



▲*Nuculites* *pacatus*
(長径4.2cm)



▲*Paleoneilo* cf. *magnifica*
(長径6.5cm)



▲*Paleoneilo* cf. *elliptica*
(長径4.5cm)

腕足類



▲*Scaphiocoelia boliviensis*▲ (長径5.8cm)



▲*Spirifer cf. cyclopterus*
(長径3.2cm)



▲その他の腕足類

コヌラリア (小錐類)



▲*Mesoconularia ulrichana*
(長径5.3cm)



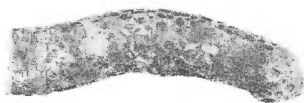
▲*Conularia quichua*
(長径7.7cm)



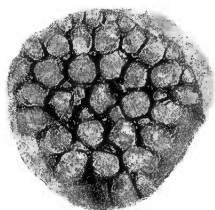
▲*Conularia sp.*
(長径11.3cm)



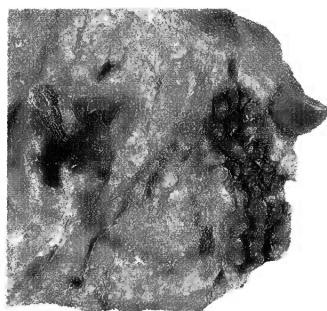
▲Hyolithes sp.
(長径8cm)



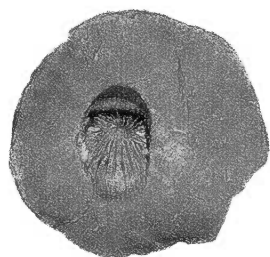
▲Striatopora cf. missouriensis
(長径9.5cm)



▲Pleurodictyum amazonicum
(長径4.5cm)

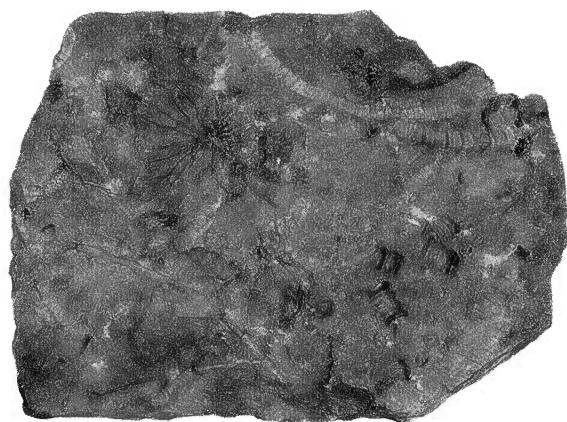


▲Pleurodictyum cf. styloporum
(長径4.0cm)

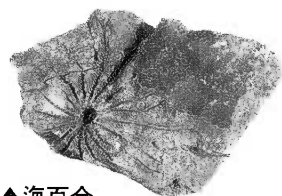


▲Cyathophyllum bolivianum
(長径1.8cm)

海百合



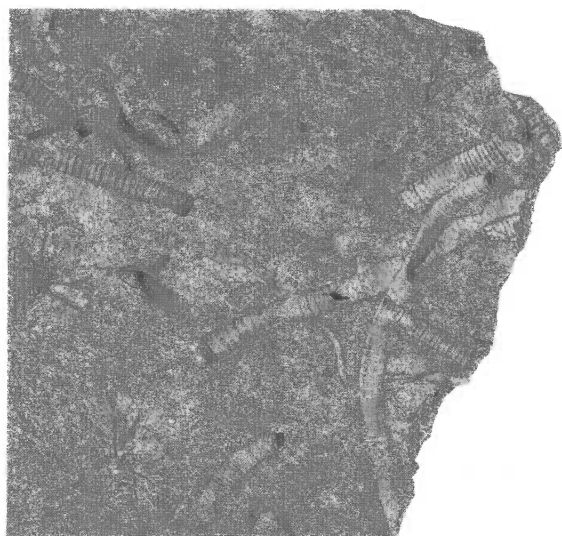
▲海百合類の萼部及び羽枝
(長径36cm)



▲海百合

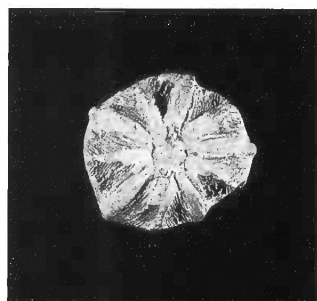


▲海百合
(長径10.5cm)



▲海百合の柄類

うみ つぼみ
海 蕾



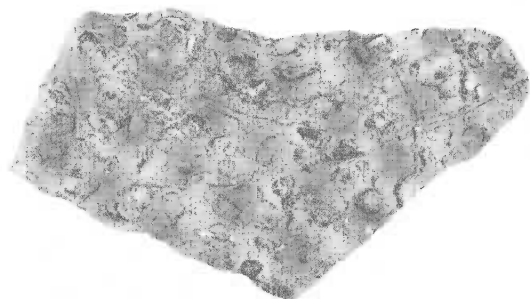
▲海蕾の萼部
(長径3cm)

(3) 二畳紀の化石

腕足類



(茎殻外部) ▲Neospirifer condor▲ (腕殻外部と茎殻後部)
(長径7cm)

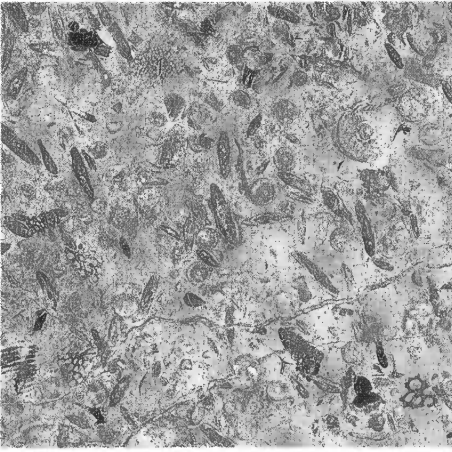


▲多種の腕足類を含む石灰岩

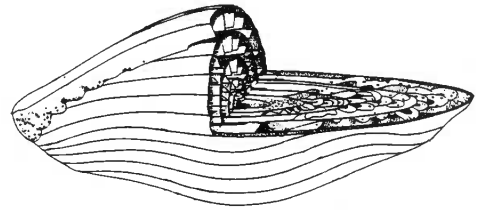
(長径25cm)

(スピリファーのことをつばめに似ているので、石燕(いしつばめ)ともいう。)

フズリナ

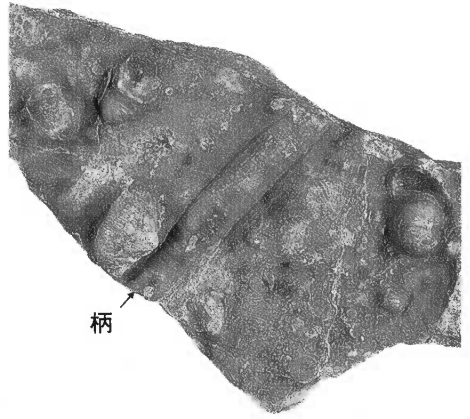
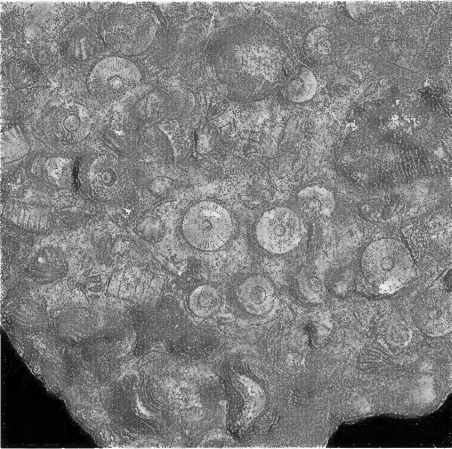


← (フズリナは写真の
長柱状のもの)



フズリナの内部構造

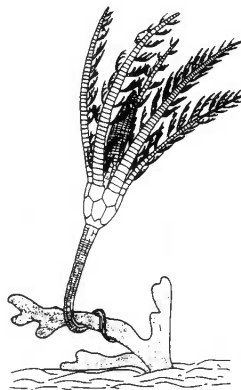
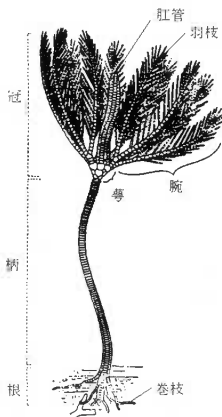
▲フズリナを含む石灰岩
(化石の長径0.8~1cm)



柄

柄 (長径0.8cm±) ▲海百合を含む石灰岩▲

(柄の長さ6cm)



ウミユリの復元の例 (「古生物学Ⅲ」より)